



東自治振興区
エイサー



小奴可の里自治振興区
福祉サロン

より広がりある市民活動に
展開するキーワード「つながり」

本市には、人口減少、基幹産業の衰退、高齢化などをはじめとするさまざまな課題があります。これらの課題に対して、行政の公平・公正を前提に、個性や特徴のない一様な政策を実施するだけでは、多様化、複雑化する課題の解決にはつながりません。地域ごと、あるいは分野ごとで分かれる細かな課題に的確、柔軟に対応するため、個人、団体、企業などが持っている力を出し合い、協力することが必要不可欠です。

合併以来、市内では住民自治組織である「自治振興区」が主体となったまちづくりが実践されています。地域の



庄原さとやま
オープンガーデン



庄原子どもミュージカル

課題解決や活性化に向け、地域が持つ個性、特色を生かした、その地域に暮らしているための「まちづくり」が展開されています。

また、地縁のつながりだけではなく、共通のテーマでつながる団体も活動を展開しています。例えば「しようばら花会議」によるオープンガーデンや「庄原市子どもミュージカル実行委員会」によるミュージカルの開催などは、市民による「まちづくり」活動と言えます。

しかしながら、地域のことは自治振興区だけ、団体やグループの活動はそれぞれで、というように独自で活動しているため、団体間をつなぐ場がほしいとの意見が出てきています。

子どもたちと一緒に
「まちづくり」を考える

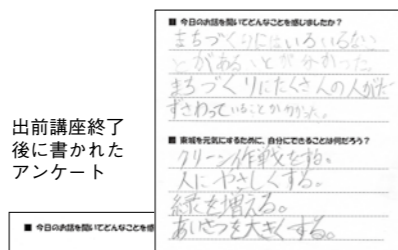
まちづくりは、大人だけが行うものではありません。子どもたちも、まちづくりの大切な一員です。市は、本市の将来を担う子どもたちに、自分たちにもできるまちづくりを考えてもらいたいと、「庄原市まちづくり基本条例の子ども向けリーフレット」を作成し、各学校を通じて市内の小学校5・6年生と中学生全員に配布しています。

東城小学校では、6年生を対象に市の職員を講師に招いた出前講座を行い、まちづくりを行う際のルール、地域で行われているイベントや行事などを参考に、まちづくりを考えました。

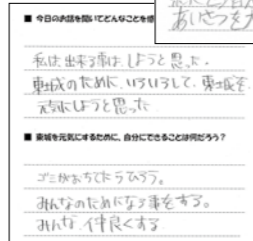
子どもたちは「まちづくりには、小さなことにもちゃんと役割があることがわかった」「町の人たちが協力しているの、私もまちづくりに協力したい」と思っ、「東城を元気にしたい」などと話し、まちづくりに関心を持ち始めました。



出前講座の様子（東城小6年生）



出前講座終了後に書かれたアンケート

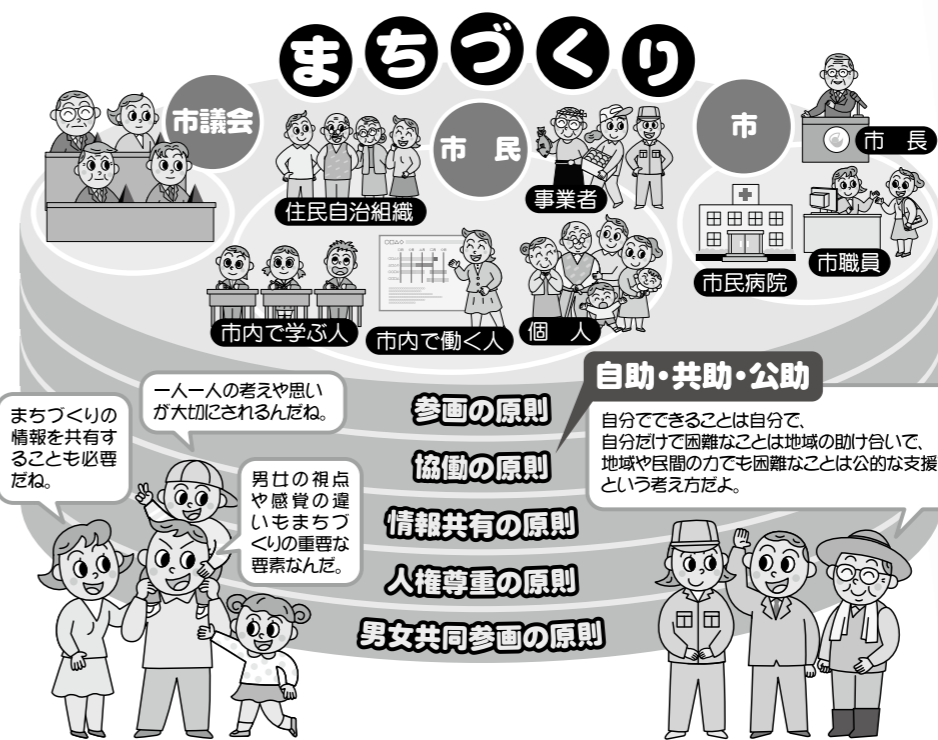


自治振興課
まちづくり定住推進係
宮地有為 係長

実は自分たちが行っているこんな活動も「まちづくり」につながっているんだ。そう気付くことで、まちづくりを身近に感じられ、自分たちで考え行動に移すきっかけにもなればと考えています。また、身近なまちづくりに触れた子どもたちが、地域を知り、地域の人を知り、愛着が生まれ、いつか帰って来たいまちと思ってもらえる、という期待を持っています。

庄原市まちづくり基本条例のおさらい

この条例では市民、議会、市が、まちづくりの主体であり主役です。それぞれの役割や責務を持ち、対等な関係で積極的に庄原市のまちづくりに取り組むことが主として掲げられています。



まちづくりとは・・・
市民が幸せに安心して暮らせるまちをつくるための活動および事業

参画とは・・・
主体的に参加し、意思決定にかかわり行動すること

協働とは・・・
各主体がそれぞれの役割と責任のもと、対等な立場で共に考え協力・連携すること



水間 面倒くさいと思うとやらないでしょ。やってもらえない。
政野 地域づくりって面倒くさいことが多いんですよ。これまで、その「面倒くさいこと」をたくさんやってきたけど、だからこそ仲間との結束力も強くなったし、思い出話もできる。もっとたくさんの人にそんな経験をしてもらいたい。

水間 もっとたくさん熱い思いを持った人が集まる場になればいいと思いますね。
政野 限界はあると思うけど、



水間 もっとたくさん熱い思いを持った人が集まる場になればいいと思いますね。
政野 限界はあると思うけど、

水間 もっとたくさん熱い思いを持った人が集まる場になればいいと思いますね。
政野 限界はあると思うけど、

「企画」を「実現」へ

これまで「しょうばら愛サミット」で出された意見やアイデアは、参加者の活動の中ですぐに使えるもの、実現できるもののほか、新たなつながりの中で実現することができるものなどさまざまです。特に、「にぎわいと活力」をテーマに出された企画は、参画したいという声が多く聞かれました。しょうばら愛サミットは、参加者同士が交流することで個々の活動を活発にし、参加者同士で新たなまちづくりの活動が生まれることを目指しています。そうした企画を実現できる参加者の皆さんの力に期待しています。

第4回しょうばら愛サミット開催！

これまで参加者同士で交わされた話の内容を広く知ってもらい、それらのアイデアを多くの方と実現するための場です。ぜひご参加ください。託児を希望する方は事前にご連絡ください。

とき 2月11日(火・祝)13:30~16:30 **ところ** 庄原グランドホテル **申し込み** 2月3日(月)まで

●内容 1. 本年度、こんな話しをしました発表会
 ①人が集まる場づくり「ハッピーターンを食べよう」②おもしろげなで！「まちBALプロジェクト」③おいしいものいっぱい！「ブランド米」「どんぐりコロコロ豚」「比婆牛」など。
 2. 企画を実現するための話し合い ♪庄原スイーツとお茶で、楽しく座談会♪

●参加費 300円(お茶代) 申し込み・問い合わせ／自治振興課まちづくり定住推進係 ☎0824-73-1257

市民同士がつながる場
「しょうばら愛サミット」



「つながりたくても出会いがない」「新しいことをやりたいけど、人が足りない」。そういった声があることから、市は市民の皆さん同士がつながり、まちづくり活動につながる出会いの場として『しょうばら愛サミット』を開催しています。一方で、「興味はあるけど参加までは・・・」「メリットがないのでは？」という声もあることから、これまでに参加した4人の方に『しょうばら愛サミット』を語っていただきました。



福田 合併して随分経つけど、隣町を身近に感じる機会が少なく感じます。隣町のことは他人事。他の地域で行われていることを自分の地域のこととして感じられたいと思う。行ったことのない地域に愛着を持つことはできませんよね。
渡辺 サークルでも、もっと地域に出たい、地域とつながりたいという声は多いんです。大学生が気軽に参加できて、アイデアなどを話し合える場になればいいですね。私は、そこをつなぐ役目がいっています。
水間 学生は庄原に魅力を感じていませんでした。Uターンして改めて他市に誇れるものがたくさんあるなと実感しています。素材も見せ方を考えることで、地域の活性化につながるヒントがたくさん見えてくると思いますね。
政野 分野別で話をする機会はあるけど、それはそこで終わってしまうことが多いです。愛サミットは、それらをつなぐ場かもしれない。もっと多くの人が集まってアイデアを出し合って、みんなが何か実践できたらいいね。

庄原市市民活動団体登録制度

市は、市内で活動する市民活動団体の情報共有や交流を目的として登録制度を運用しています。登録情報をホームページで紹介するほか、市内や近隣で開催される講座や助成制度などの情報をお送りしています。現在13団体が登録しています。ぜひご登録ください。詳しくは市ホームページをご覧ください。

[トップページ](#)
[産業・まちづくり](#)
[自治振興](#)
[市民活動団体登録制度](#)